

白石市 白石市立深谷小学校 「深谷地区に伝わる神明神楽の体験学習」

○市町名 白石市

○学校名 白石市立深谷小学校
第5・6学年 12名

○期 日 令和4年9月27日(火)

○内 容

- ・総合的な学習の時間として、郷土の先人の思いや伝統文化の良さに触れ、郷土のすばらしさに対する思いを深めるとともに、シビックプライドにつながる未来の担い手、伝承者としての誇りと自発性を育むことをねらいとした活動。

○主な活動計画

- 9月27日(火) 深谷神明神楽の体験学習①
- 10月22日(土) 学習発表会での演舞
- 11月11日(金) 深谷神明神楽の体験学習②
- 12月 1日(木) 山元町立坂元小学校との
神楽交流会
(白石市古典伝承の館
碧水園にて実施)

○講 師

深谷神明神楽保存会

日下 秀雄 氏 大野 保男 氏



○児童の声

学習発表会で演じる神楽のために、神楽保存会の方々に一つ一つの動きのポイントを教えていただきました。私の学習発表会での目標は、細かい動きでも心をこめて完璧に踊ることです。その細かい動きを保存会の方々は丁寧に教えてくれました。私は、一緒に踊る相手と動きをそろえることに気を付けたいです。教えてもらったことを生かし、見ている人の心に響くような神楽にしたいです。

(5年 片平 真歩さん)



神楽保存会の方々との練習は1年ぶりだったので、日下さんや大野さんにも1年ぶりに会いました。去年は初めてだったのでできるのか不安でしたが、保存会のみなさんと練習をしたら踊ることができました。でも神楽に対する思いはあまり入っていなかったのが、今年は神楽についてよく知り、本番までにしっかり思いを込めて練習をして、神楽に対する思いや気持ちも見ている人に伝えられるよう頑張りたいです。

(6年 片平 琉騎亜さん)



ぼくは久しぶりに練習をして、覚えているか少し不安だったけれど、みんな覚えていたので、あとは細かいところを直すだけだと思います。これからみんなと一緒に協力をして、掛け声を言わなくても全員同じように動けるように、頑張りたいと思います。

(6年 高野 快晴さん)



久しぶりに神楽をして、体のあちこちが疲れたけれど、これから手を大きく上げるなどいろいろなことを教えてもらい、完成度を高めていきたいと思いました。細かいところなどもしっかり完璧にできるように、頑張っ神楽に取り組みたいです。

(6年 鎌田 未来さん)

私が神楽を教えてもらって約1年が経ちました。踊れるか不安でしたが、神楽保存会の日下さんと大野さんが教えてくださったので、その不安もなくなり、自信を持って踊れました。今年も踊ることになって、あらためて神楽をどう伝えていくべきなのかを考え、6年生としてしっかり真剣に自信を持って踊れるように努力をして、発表会では頑張りたいと思います。

(6年 大槻 夏海さん)

○講師から

深谷神明神楽は、戦後間もない時期に、当時、深谷地区の若者が白石鷹巣神楽を習得し、この深谷に伝えました。それから数十年が経ち、一時活動を中断しましたが、今は深谷小学校の子供たちがこの深谷神明神楽を伝承していただけるのは本当にありがたいことです。子供たちも、日本の伝統ある神楽を通して、神話や由来等を学ぶことで日本人の「心」を学ぶ機会が出来ることは非常によいことだと思います。神楽を通し、深谷地区の風土と誇りを学んでもらえるように、これからも、私たち深谷神明神楽保存会は協力していきたいと思います。

深谷神明神楽保存会 日下 秀雄 氏

○教職員の声

深谷小学校の5年生が代々踊り継いできた深谷神明神楽。今年度は5年生が1名ということもあり、5・6年生12名で踊ります。当日は、神楽保存会から2名の方に来ていただいて、曲の始めから細やかに踊り方を教えていただきました。昨年度に一度踊っているとはいえ、神楽独特の体の使い方や道具の動かし方など、子供たちはさらに美しく踊るために真剣に見ていました。12月には白石市古典伝承の館碧水園で、山元町立坂元小学校との神楽交流会も予定されています。踊りの披露と共に、地域の方々の神楽に対する思いも伝えられればと思います。今後も神楽保存会の方たちとのつながりを大事に、子供たちとともに取り組んでいきます。ご指導くださった神楽保存会の方々に、深く感謝申し上げます。

5・6年担任 高野 知子 先生

○教育事務所から

学校が核となり、地域に残る伝統文化の継承を未来へとつなげていく取組は、踊り方だけでなく、地域の方の思いや願いも着実に子供たちへと引き継ぐことができる素晴らしい活動でした。発表会や交流会で、多くの人の心を動かす神楽が演じられることを期待しております。